



世界文化遺産
長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産



文部科学省
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan
令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金

貝と祈りのかたち

令和8年度

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

保存活用推進事業

天草と長崎の キリシタン信仰用具

会期 | 令和8年11/14[土]—令和9年1/5[火]

開館時間 | 9:00-17:00 (最終入場16:30) ※休館日:毎週水曜日、年末年始(12月30日[水]~1月1日[金])

会場 | 天草ロザリオ館(旧天草玩具資料館)

※天草ロザリオ館の常設展示を観覧される場合は、別途料金が必要です。

入場
無料

【主催】

長崎県、天草市、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会(長崎県・熊本県・長崎市・佐世保市・平戸市・五島市・南島原市・小値賀町・新上五島町・天草市・宗教法人カトリック長崎大司教区・宗教法人カトリック福岡司教区・宗教法人お告げのマリア修道会・NPO法人長崎巡礼センター *事務局:長崎県歴史文化遺産課)

【協力】

カトリック崎津教会、カトリック土井ノ浦教会、淵龍山天福寺、外海潜伏キリシタン文化資料館

①メダル・聖遺物入[イエズス会紋章]結束(外海潜伏キリシタン文化資料館蔵)

②メダル・コンタツ結束(重要有形民俗文化財、平戸市生月町博物館・島の館蔵)提供:平戸市

③十字架(カトリック崎津教会蔵)・(カトリック土井ノ浦教会蔵)

④イナツシヨ様(個人蔵)

⑤白蠟貝製メダル[イエズス会紋章 | イグナチオ・デ・ロヨラ像](カトリック崎津教会蔵)

令和8年度

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用推進事業

天草と長崎の キリシタン信仰用具

—— 貝と祈りのかたち ——

12の構成資産から成る「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、17世紀から19世紀にかけての2世紀以上にわたる日本の禁教期に潜伏キリシタンがひそかに信仰を継承する中で育んだ独特の宗教的伝統を物語る物証として、平成30年(2018)7月に世界文化遺産に登録されました。

本展では、この歴史的背景をご紹介することを目的として、構成資産のひとつである「天草の崎津集落」(熊本県)と長崎県内各地に伝承されたキリシタンの信仰用具(国指定重要有形民俗文化財「長崎のかくれキリシタン信仰用具」を含む)などを展示いたします。

16・17世紀のキリスト教の布教期、そして19世紀の再布教期にもたらされた十字架やメダル(メダイ)等は天草・長崎で共通するものが多く、一方、禁教、潜伏という厳しい時代においては、地域ごとに特色ある信仰用具がかたちづくられた傾向を見ることができます。また、崎津集落では漁村特有の生活や生業に根差した身近なものを礼拝の対象として代用し、大黒天や恵比須像、そしてアワビ貝の内側の模様に見出していました。また、外海(そとめ:長崎市北部)から五島列島(長崎県)に移住した信仰組織においてもアワビ貝に聖人の名を付すなど、天草と五島列島とのつながりを示唆する信仰用具があります。

さらに、崎津集落では白蝶貝を素材とするメダルを製作していたと考えられており、日本にキリスト教を伝えたイエズス会の紋章と同修道会の創設者であるイグナチオ・デ・ロヨラを表したメダルが伝承されています。このメダルを中心として、素材、そして図像に注目し、関連する信仰用具もご紹介します。



イナッショ様(重要有形民俗文化財、長崎市外海歴史民俗資料館蔵)



ブラケット、聖遺物入、メダル、幕一式(平戸市生月町博物館・島の館蔵)



聖龕《聖霊降臨》(重要有形民俗文化財、平戸市生月町博物館・島の館蔵)



アワビ貝(カトリック土井ノ浦教会蔵)

◎アクセス | 天草ロザリオ館(旧天草玩具資料館)
〒863-2801熊本県天草市天草町大江1749番地 TEL 0969-42-5259
※熊本市から車で(崎津集落経由)2時間30分、九州自動車道松橋ICから車で2時間20分、天草空港から車で65分
※「大江天主堂入口」バス停下車 徒歩1分



世界文化遺産
長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

〈問い合わせ先〉
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会事務局
(長崎県歴史文化遺産課) 〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3-1
TEL 095-894-3171(平日10:00~17:00) [e-mail] s38100@pref.nagasaki.lg.jp



令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金

